

国内で購入できる

カシス新品種の特性

りんご研究所

カシス(クロフサスグリ)は、東青地域(青森市)で「あもりカシス」としてブランド化しています。現地では、現在も初期に導入された品種(「青森在来」)が栽培されていますが、これまで他品種と果実品質や収量を比較検討したことはありませんでした。そこで、国内で苗木を購入できる品種について調査したところ、「青森在来」とは異なる特性を有することがわかったので紹介します。

カシス品種の特性



期待される効果

- ◆ 複数の品種を栽培すると収穫期間が広がり、収穫の労力分散が図られます。
- ◆ 果実の大きい品種は加工以外にも生果需要に対応でき、利用場面が広がります。

利用上の注意事項

⚠️ ニッポン緑産株式会社の会員制品種の苗木購入には自家増殖の禁止等の条件があり、会員登録を行い、契約書を交わす必要があります。

お問い合わせ

りんご研究所 県南果樹部 (Tel.0178-62-4111)